

山辺里地区まちづくり計画~~(案)~~

「さべり So Happiness」
～山辺里地区みんなの幸せのために～



平成24年3月18日策定

山辺里地区まちづくり協議会

目 次

山辺里地区の市民協働のまちづくりにあたって	P 2
1 はじめに	P 3
2 山辺里地区の特色と現状	P 3
3 山辺里地区まちづくり計画の基本方針	
1 基本姿勢	P 4
2 スローガン	P 4
3 理想の将来像	P 4
4 推進方針・方策、理想の将来像実現のための実施サイクル	
1 推進方針・方策	P 5
2 理想の将来像実現のための実施サイクル	P 6
5 まちづくりの推進体制	P 7
6 まちづくり協議会設立までの経過	P 8
7 山辺里地区まちづくり協議会設立準備会委員	P 9

山辺里地区の市民協働のまちづくりにあたって

山辺里地区まちづくり協議会の設立にあたって

山辺里地区まちづくり協議会設立準備会 会長 鍋倉 静雄

雪消えを待てず草木の芽も膨らみ、小鳥の囀りも賑わう季節となりました。皆様には、益々御健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

村上市では「元気“e”まち 村上市」を将来像として定め、地域特性を活かした活力ある地域づくりを提唱し、当地区でも「設立準備会」を立ち上げ、8回に及ぶ協議を得て、設立総会を開催する運びとなりました。

豊かな自然を大切に、地域みんなが笑顔で健康に暮らし、豊富な農産物を活用した取り組みや若者が定住できる魅力あるまち。伝統文化や地域行事を通じ人と人がふれあうまち。そんな地域づくりを目指します。

地域の皆様のご理解ご協力なくして前進できません。

皆様のご支援をお願いし、協議会設立にあたり準備会を代表し挨拶いたします。

山辺里地区まちづくりにあたって

山辺里地区区長会 会長 志田 健史

今回の協働のまちづくりについては、行政側の第1次村上市総合計画にもとづき、やり方としては市民協働のまちづくりという手法で、地域と行政が互いに協力し、いかに住み良い山辺里地区をつくり進めるということで、今まで進めて来ました公民館体制を切り替えた中で、とりあえず既存の事業を実施しながら、順次、環境・高齢者・子供・地域農業・集落等の問題を掘り下げながら進めていくということです。

区長会としては、今までも山辺里地区が少しでも住み良い地域になるために努力をしてきました。これからも、区長会として今まで通りの活動を進めるつもりであります。今後の協働のまちづくり事業についても区長会として、協力していくつもりであります。

1 はじめに

私たちが暮らす山辺里地区は、清らかな川が流れ、美しい田園風景に象徴される緑豊かなまちです。

私たちは、ここに生まれ育ち、あるいは集い、それぞれの歴史を刻みながら暮らしています。

私たちは、豊かな自然と先人の英知とたゆまぬ努力によって発展してきた大切なこのまちを、より暮らしやすくするとともに、次の世代へ引き継ぐため、ともに力をあわせ助け合って、自らの手で築いていかなければなりません。

そのため、私たちは、責任を分かち合って誰もがまちづくりに参画することで、それぞれの持つ個性や能力が発揮された魅力と活力にあふれた地域社会の実現をめざし、ここに山辺里地区まちづくり計画を策定します。

2 山辺里地区の特色と現状

山辺里地区は、過去の長い年月を経て三面川、門前川などが運んできた土砂で平野ができ、肥沃な大地を活かした農業を中心に発展してきたまちです。

山辺里地区は、20集落3,899人(平成24年1月1日時点)が住んでいて、市全体では人口減少傾向のなか、近年の国道7号周辺などの宅地開発による流入人口の増などにより、5年前(3,805人)と比べ人口が微増しています。

山辺里地区には、三面川、門前川に代表される清らかな川が流れ、美しい田園風景が広がり、緑と自然にあふれた地域です。また、やさしく親切な人柄の人が多く、近所で助け合って暮らしています。門前には越後4箇道場のひとつ名刹耕雲寺があり、各集落では、左義長や地蔵様祭りなど伝統行事が传承されています。

また、地区の中心を国道7号が縦断し、平成23年3月に日本海東北自動車道村上山辺里ICが開通するなど交通アクセスがよく、近くに大型商業施設もあって生活の利便性が高い地域です。また、平成23年4月に統合山辺里小学校が開校し、新しく広い校舎で子どもたちは伸び伸びと学んでいます。坪根地内には、村上工業団地があり、世界有数の航空機部品を製造する企業など11社約800人が働いています。

近年、基幹産業である農業の後継者不足や一人暮らし高齢者の増加、子どもの少ない集落や高齢化率が50%を超える集落があることなどが、憂慮されるべき状況となっています。

3 山辺里地区まちづくり計画の基本方針

1 基本姿勢

村上市では、市制施行後はじめてとなる第1次村上市総合計画を策定し、村上市の将来像を「元気“eまち”村上市」とし、重点的、戦略的に取り組むテーマとして「定住の里づくり」と定めています。

その推進手法に、「市民協働のまちづくり」を掲げ、地域と行政がお互いに知恵を出し合い、地域の特性を活かした活力ある地域づくりをすすめることとしています

本計画は、山辺里地区の市民協働のまちづくりをすすめる上での中心的計画として位置づけ、お互いの助け合いやふれあいを大切にして地域固有の資源や特色を活かしながら、山辺里地区のみんなが「幸せ」を感じながら暮らせる地域づくりのための中長期的な指針となるものです。

2 スローガン

「あふれる緑 つながる和 生き生きさべり」

3 理想の将来像

豊かな自然を大切にし、ゴミのない花や緑にあふれた自然と調和の取れたまちにしたい

子どもからお年寄りまで安全安心で、地域のみんなが笑顔で健康的に暮らせるまちにしたい

農業を振興させ豊富な農産物等を活用した取り組みや若者の定住を図って魅力あるまちにしたい

あいさつやお互いの助け合いがあり、伝統文化の継承や地域行事を通じて、人と人がふれあうまちにしたい

4 推進方針・方策、理想の将来像実現のための実施サイクル

1 推進方針・方策

分野	推進方針	方 策
自然環境・景観	清らかな自然を守り、美しい景観を次の世代に引き継ぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境、田園風景を守る活動 ・自然環境を活かした体験プログラムの実施 ・地域内清掃、除草活動の実施 ・集落環境美化活動の推進 ・花いっぱい運動の実施 ・E C O活動の推進
健康・福祉・安全	誰もが安全安心で健康的な暮らしができる取り組みを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で子どもを見守る活動 ・高齢者にやさしいまちづくりの推進 ・健康教室、運動教室の開催 ・地域交流拠点や公園の整備 ・災害に強い地域づくりの推進
産業振興・定住促進	農産物等を利活用した取り組みや若者の定住を図って、地域の魅力を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・農や食のP Rイベントの検討実施 ・農業振興の検討実施 ・新たな特産品の開発検討 ・地域の食文化の魅力発見 ・コミュニティビジネスの検討 ・婚活イベントの検討実施
地域交流活動	地域行事や集落行事で人と人とのふれあい活動を活性化させる	<ul style="list-style-type: none"> ・新規交流イベントの開催 ・文化活動の推進 ・スポーツ大会の開催 ・地域の歴史の研究調査 ・伝統行事の伝承支援 ・集落活性化事業の検討実施 ・地域コミュニティの情報発信 ・次世代の地域の担い手育成

2 理想の将来像実現のための実施サイクル

協働のまちづくりの取り組みの初期段階では、まず、地域住民にその意義や内容を周知し、誰もがここに住んでよかったと思える地域づくりを、自らの手で作り上げていく意識の醸成が重要となります。徐々に取り組みの輪を広げ、発展的に事業展開するため次のようなサイクルで取り組みを実施します。

また、毎年度「Plan（計画） Do（実行） Check（評価） Act（改善）」サイクルで事業効果を検証し、理想の将来像の実現を目指します。

初期段階（平成24年度）

- ・協働のまちづくり意識の周知と醸成を図ります。
- ・専門委員会（ワーキンググループ）において、具体的な方向性と実施事業の具体策を考えます。
- ・具体策について、事業効果と重要度を評価した上で、手順と行動計画を立てて実施できる事業から順次展開していきます。
- ・既存の分館事業のスムーズな移行を行います。
- ・平成25年度から平成27年度の実施事業の年次計画を立てます。

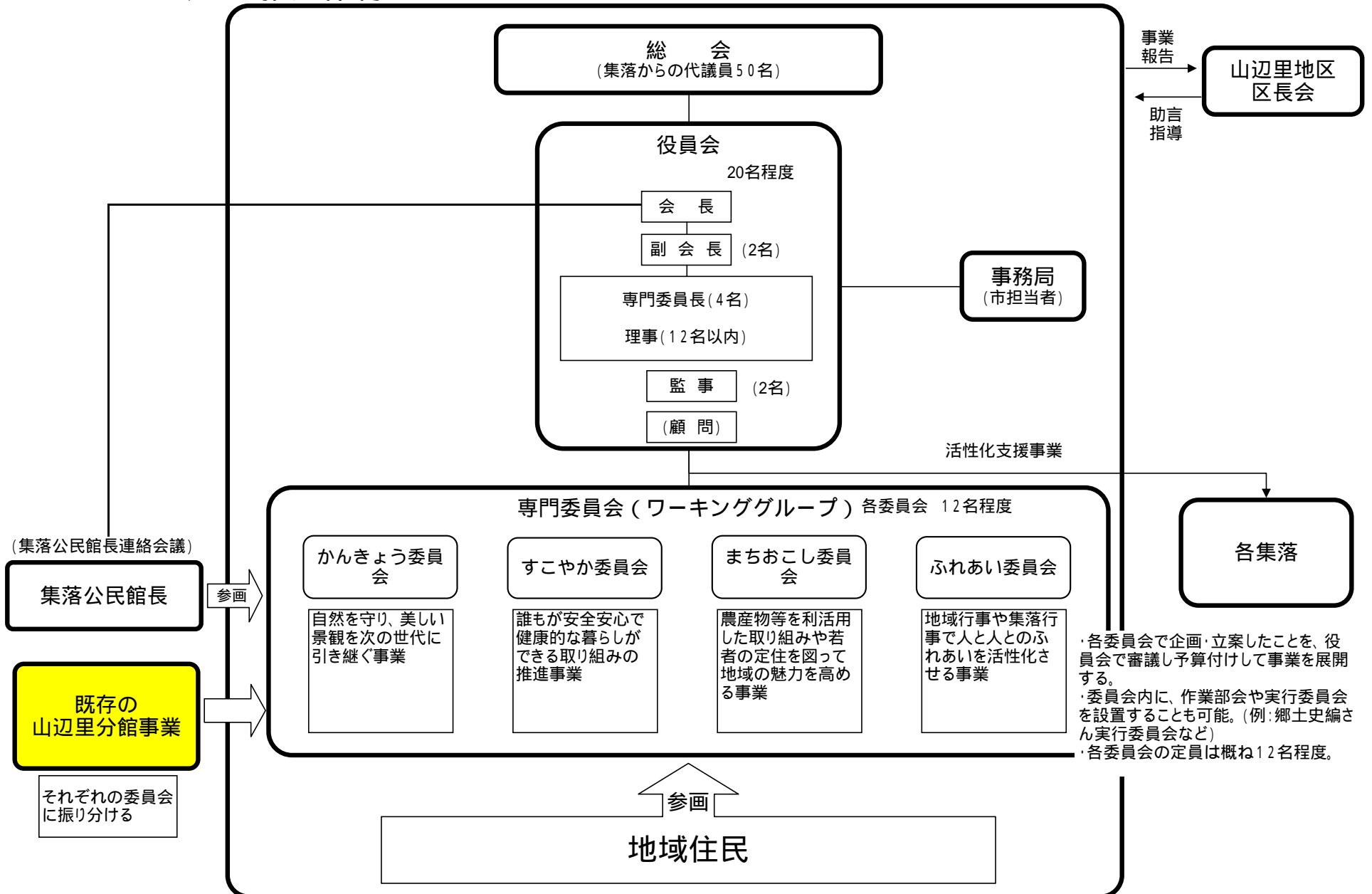
離陸段階（平成25年度～平成26年度）

平成24年度に立案した事業計画に基づき、山辺里地区固有の資源や特色を活かした新規事業の取り組みを実行します。理想の将来像と現実とのギャップを解消する具体策（真因）について、手順と行動策を考え事業を立案し実行します。

前進段階（平成27年度～平成28年度）

この頃になると、社会情勢や地域ニーズの変化などから、当初計画の見直しが必要になります。そこで、これまでの取り組みの重要度と事業効果をすべて評価し、事業の見直しや改善を行い、さらに上のレベルの取り組みを目指します。

5 まちづくりの推進体制



6 まちづくり協議会設立までの経過

月 日	会議・事業	内 容
6月14日	第1回 発起人会議	<ul style="list-style-type: none"> ・協働のまちづくりについて説明 ・山辺里地区での進め方
7月 5日	第2回 発起人会議	<ul style="list-style-type: none"> ・設立準備会委員の選任 ・集落資源調査の実施方法について
7月12日	山辺里地区区長会	<ul style="list-style-type: none"> ・設立準備会の設立について ・集落資源調査の協力依頼について
8月 8日	第1回 設立準備会	<ul style="list-style-type: none"> ・協働のまちづくりについて概要説明 ・経過説明、スケジュール説明
9月13日	第2回 設立準備会	<ul style="list-style-type: none"> ・準備会役員の選出 ・取り組み方針の協議 ・まちづくり計画策定のための意見集約方法
10月	まちづくり計画策定のためのアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校とその家族 207 件、地区文化祭 103 件、インターネット 18 件の回答を得る
10月19日	山辺里地区区長会	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況報告 ・推進方針説明
11月15日	第3回 設立準備会	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり計画作成のための協議（アンケート、集落資源調査から） ・設立準備会予算の承認
12月 2日	山辺里地区区長会	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況説明 ・まちづくり組織図について ・アンケート調査の結果について
12月 6日	第4回 設立準備会	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり組織体制の協議 ・まちづくり計画（案）の協議
12月19日	第5回 設立準備会	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり組織体制の協議 ・スローガンの協議 ・設立総会までの協議事項について ・協議会役員の協議
1月16日	三役会議	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会規約、まちづくり計画について ・専門委員会体制について
1月24日	第6回 設立準備会	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会規約の協議 ・まちづくり計画の協議 ・専門委員会体制の協議
2月 2日	山辺里地区区長会	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会規約、まちづくり計画について ・協議会役員の選出について依頼 ・代議員の選出依頼について
2月11日	第7回 設立準備会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度事業実施計画、予算案の協議 ・役員等の報償費等について
2月28日	第8回 設立準備会	<ul style="list-style-type: none"> ・設立総会議案の審議

7 山辺里地区まちづくり協議会 設立準備会委員

(敬称略/順不同)

	役職	氏名
1	会長	鍋倉 静雄
2	副会長	近藤 弥太郎
3	副会長	稲葉 眞知子
4		中村 泰夫
5		大滝 長治
6		鍋倉 光雄
7	監事	佐藤 敏
8		大滝 茂雄
9	監事	中村 三枝子
10		只木 友樹子
11		瀬賀 ひとみ
12		川内 信一
13		高橋 清
14		中嶋 康治
15		小田 幸士
16		成田 丘悦
17		小野 長昭

事務局：村上市自治振興課 村上地区自治振興係

	役職	氏名
1	主査	五十嵐 博